

カジノ・万博をやめて被災地支援を

ゆめしま 2・24第2回『夢洲IR・カジノ大阪府民公聴会』

●2024年2月24日(土) 12:00~15:00 茨木市オークシアター



2023年10月23日、『万博中止！カジノはいらん！御堂筋1000人パレード』



2024年2月9日、万博、IR・カジノ予算審議が行われる大阪府議会開会日に、数団体の呼びかけで大阪府役所本庁舎をヒューマン・チェーン(人間の鎖)で包囲。400人以上の皆さんが参加しました。

〔第1部〕

- 12:00 あいさつ
- 12:03 基調・問題提起と運動方針提案
- 12:15 講演『必ずこける大阪万博&カジノ』
西谷文和さん(ジャーナリスト)
- 12:50 大阪府民による意見公述
 - ①万博・カジノをやめて被災地支援を
 - ②夢洲・軟弱地盤の問題点
 - ③地域防災・避難計画後回しの
IR・カジノに問題あり
 - ④大阪湾に失われた自然環境を
取り戻すその第一歩に!
 - ⑤労働者の安全衛生問題
 - ⑥万博カジノより教育充実
 - ⑦カジノにおける人権侵害と倫理
 - ⑧カジノに反対・障がい者の立場から
 - ⑨ギャンブル依存症について
 - ⑩不正な契約としての実施協定
- 13:50 カンパの訴え

〔休憩〕 13:52 ~14:00

〔第2部〕

- 14:00 漫才
豊中NOカジノシスターズ
- 14:05 連帯あいさつ
国会議員の皆さんより
- 14:17 みんなで討議
- 14:55 まとめ・あいさつ
- 15:00 終了

〔デモ〕

15:30~16:15 茨木市内

※『万博やめて！カジノもやめて！今と明日のくらしを考える』集会にもご参加ください。

18:30~20:00 大阪市住吉区民センター

お話：西谷文和さん

坂本篤紀さん(日本城タクシー社長)

主催：カジノはいらん！住吉の会



夢洲。巨費を投じて、わずか半年で取り壊す万博会場建設工事を進めている。今は、被災地支援を正優先すべき時ではないのか。

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>

〒536-0008 大阪市城東区関目6丁目4番2号カサビアンカ関目103

電話：090-8536-3170 メール：stop-casino@vosakaf.net

●ごあいさつ

こんにちは。第2回「夢洲 IR カジノ府民公聴会」に参加された皆様、ありがとうございます。

私は「夢洲カジノを止める会」吹田の籠谷と申します。

私たちは一昨年来、大阪を壊す「カジノ誘致計画」の撤回を求め、住民投票条例制定の署名21万筆を集め多くの府民の共感を得ることができました。

しかし大阪府吉村知事はその府民の願いを一顧だにせず、国も昨年4月には「IRカジノ誘致計画」を認定しました。9月には大阪府市は数多くの問題点を不問にしたまま、『実施協定』を国に申請し国もまたそれを「認可」してしまいました。その間もその後も大阪府市は国が認定の条件とした「双方向の対話」を全く行おうとしていません。

私たち「府民の会」は、「それなら」と私たちの側から「公聴会」を設定し、国・大阪府市の責任者と対話する場に、昨年10月とこの2月に参加していただくよう強く要請してまいりました。

その要請には国会・地方議員・弁護士・学者ほか多くの府民が賛同してくださいました。心よりお礼を申します。ところが国・大阪府市ともに不誠実にも「参加します」との返事は未だありません。

大阪・関西万博の開催があと一年と少しに迫ってきています。一方、能登半島地震で多くの被災者が苦難の生活を強いられています。「万博なんかやっている場合か」という国民の批判と、次から次へと出てくる万博に関連する難題の数々。それでも強行しようとする岸田政権と維新大阪府市政。「IR・カジノのために万博をやるのだ」ということが国民の目にもハッキリとしてきました。

今日この集いでは、IR・カジノ撤回を一貫して訴え追及してきたジャーナリストの西谷文和さんから最新の情報を講演いただきます。そのうえで大阪北部を中心に私たち一府民の生の声、率直な疑念・意見を公述人10名の皆さんから発表していただきます。そしてそれを巡って自由な討議を活発に行っていきたいと思えます。

参加された皆さんの熱気ある議論をお願いします。大阪北部の地から「万博中止・カジノやめて」

の声をもっと大きく広げていくよう念願し、開会のあいさつといたします。

